令和６年７月

「建物保全データ」シートの作成方法

対象建築物は、延床面積が 100 ㎡以上の建築物です。

１建物保全データの入手方法

(1) **監督員より、**最新版の建物保全データ(**ver5.0.1以降**)の**入手してください。**
※ホームページからのダウンロードは取止めました。

(2) 実施設計で設計者が既に作成している場合は、監督員経由で入手してください。
※ver4.0.0以降のファイルかご確認ください(ver3.0.5以前のファイルは利用できません)。

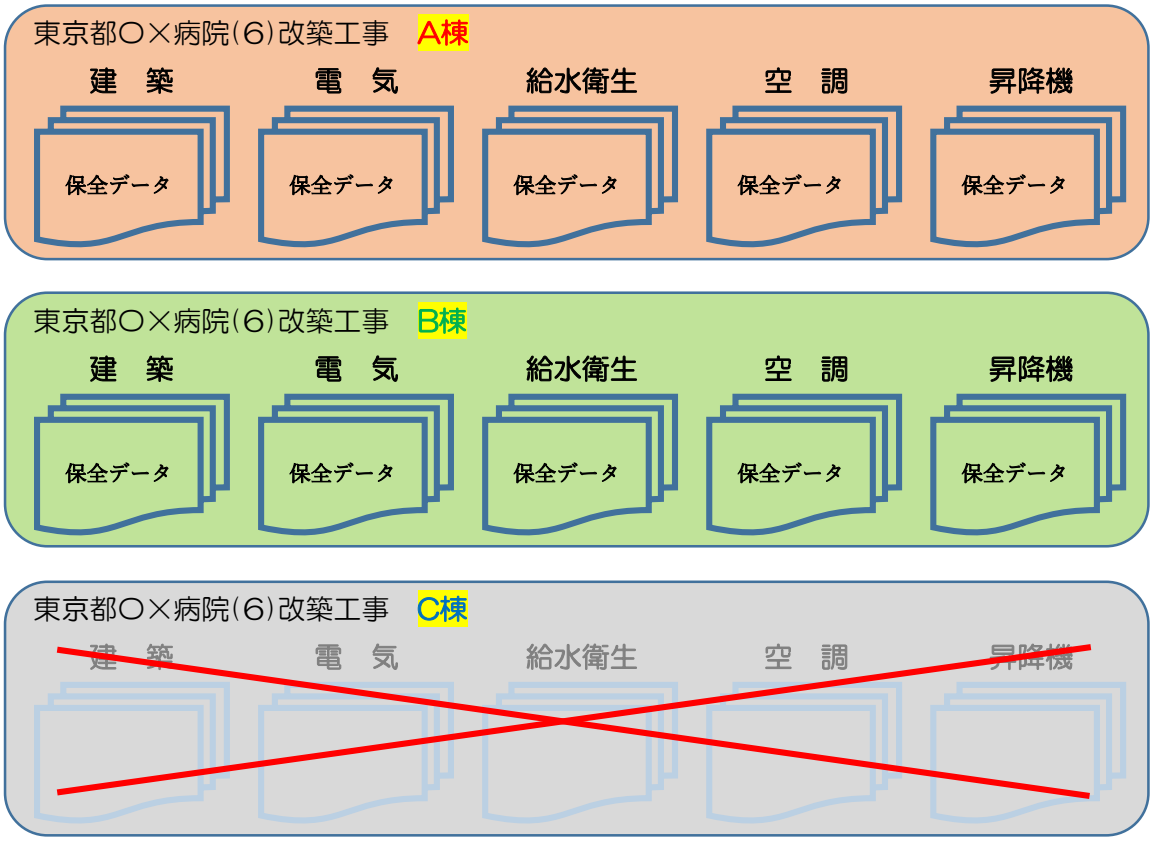
(3) 改修工事などの場合は、データベース上に既存の機器等の情報が存在する可能性があるので、監督員に「既存機器データ」の有無を問い合わせてください。

２ファイルの作成方法

工事種別ごと、棟ごとにファイルを作成してください。（延床面積100㎡以上の建物が作成対象）

例）工事件名：東京都〇×病院(6)改築工事
工事対象建物：A棟(10,000㎡)、B棟(2,000㎡)、C棟(90㎡)
工事種別：建築、電気、給水衛生、空調、昇降機

→ 10ファイルに分割します。



※一括工事で同一の建物の場合は、１つファイルにまとめて作成してください。
※分割発注した工事間で共同設置した機器は、主要工事に入力してください。

令和６年７月

３ファイル名称

施設名称（全角）＋ファイル名（全角）＋棟名＋拡張子

例）〇×病院(６)改築工事_保全データ_A棟.xlsm

〇×病院(６)改築電気設備工事_保全データ_A棟.xlsm

４コンテンツの有効化



上記の表示が出た場合は、「コンテンツの有効化」をクリックしてください。

５「建物保全データ」の提出方法

(1) PDFにせず、Excelのまま、しゅん功CDに格納して提出ください。

(2) ファイルの種類は、Excelマクロ有効ブック（.xlsm）形式で提出してください。

(3) 上記(1)及び(2)の他、「東京都財務局電子納品運用ガイドライン（令和６年４月制定）」を参照してください。

６台帳番号



「4機器等」のシートに記載されている台帳番号については、監督員が入力します。

７問い合わせ先

監督員を通じて財務局建築保全部工務課までお尋ねください。

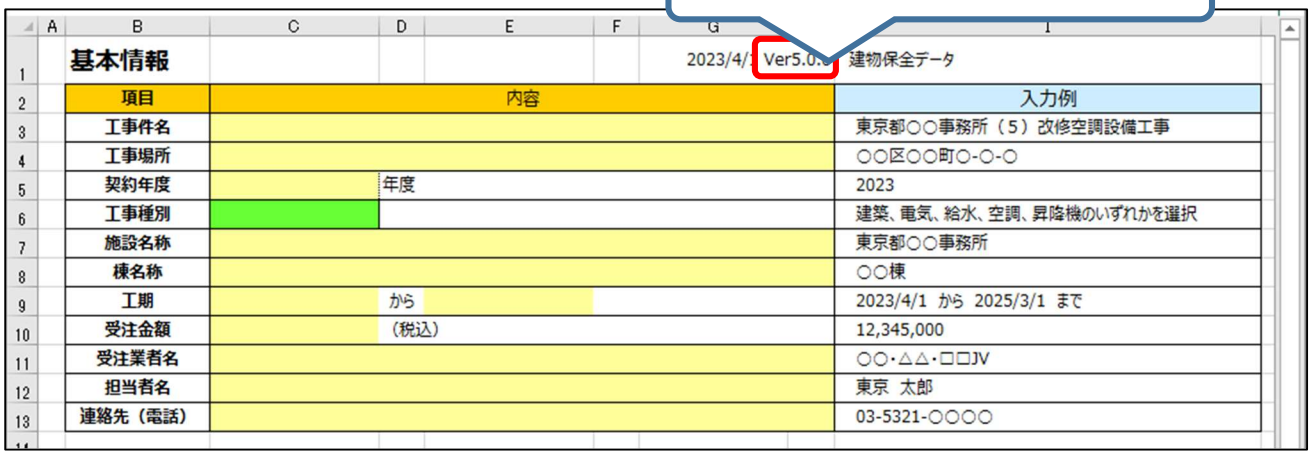
令和６年７月

8作成方法及び注意事項

※「建物保全データ(ver.5.0.1以降)」の「使い方」シートも併せて確認してください。

（1）基本情報シート

Ver5.0.1 以降であることをご確認ください。



基本情報									
							2023/4/1	Ver5.0.1	建物保全データ
	項目	内容							入力例
	工事件名								東京都○○事務所（５）改修空調設備工事
	工事場所								○○区○○町○-○-○
	契約年度		年度						2023
	工事種別								建築、電気、給水、空調、昇降機のいずれかを選択
	施設名称								東京都○○事務所
	棟名称								○○棟
	工期		から						2023/4/1 から 2025/3/1 まで
	受注金額		（税込）						12,345,000
	受注業者名								○○・△△・□□JV
	担当者名								東京 太郎
	連絡先（電話）								03-5321-○○○○

①ベージュ色の項目について、入力してください。

②契約年度は、工事件名の年度を西暦で入力してください。

③工事種別は、プルダウン項目から選択してください。

④工期は、2024/04/01又はR6.04.01のように入力してください。

⑤受注金額は、半角数字のみ入力し、ハイフン「－」は入力しないでください。

⑥担当者名は、現場代理人等、保守の問い合わせに対応できる者を記入してください。

（2）建物情報シート

	A	B	C	D	E
1		建物情報			
2					
3		項目		入力欄	入力例
4		工事件名			基本情報シートの入力内容が反映されます。
5		施設名称			基本情報シートの入力内容が反映されます。
6		棟名称			基本情報シートの入力内容が反映されます。
7		建築確認申請年月日			2025/3/31
8		しゅん功年月日			基本情報シートの入力内容が反映されます。
9		階数	地下		3
10			地上		9
11			塔屋		1
12		最高軒高（m）			12345.12
13		標準階高（m）			12345.67
14		構造			鉄骨鉄筋コンクリート造
15		建築面積（㎡/坪）			12345678.10
16		延床面積（㎡/坪）			12345678.20
17		施工者１			○○建設株式会社
18		施工者２			△△建設株式会社
19		施工者３			□□建設株式会社
20		外壁仕上			外壁なし(シャッター等)
21		窓形式			ポツ窓
22		屋根仕上			カワラ類
23		標準床仕上			カーペット類
24		標準壁仕上			ペンキ類
25		標準天井仕上			岩綿吸音板
26		熱源			個別（パッケージ）方式
27		空調			エアハンドリングユニット
28		給水			ポンプ直送方式（定速式）
29		給湯設備			貯湯式給湯器
30		排水			自然放流・建物外分流方式
31		浄化槽			単独処理浄化槽（散水濾床）
32		受変電			三相3線式200V
33		自家発電設備			ガスタービン
34		定格出力(kVA)			100
35		防災設備			屋外消火栓設備
36		昇降機１			人荷用
37		昇降機１の台数（台）			12
38		昇降機２			人荷用
39		昇降機２の台数（台）			3
40		駐車方式			自走式(平置き)
41		駐車台数(台)			20
42		基礎方式			ベタ基礎
43		杭種			リバース杭
44		太陽光発電設備有無		無	有無
52		太陽光発電設備（kW）			123.45
60		除外協議日			
61		除外理由			
62		除外理由メモ			

①ベージュ色の項目について、入力してください。

なお、「項目」に記載のある単位に合わせた数値とし、単位は入力しないでください。

②グリーン色の項目については、プルダウンから選択してください。

※「基本情報」シートで選択した工事種別によって、グリーン色の項目は変わります（建築工事の場合を掲載しています。）

③グレー色の項目は入力しないでください。

④施工内容が機器交換などの場合は、変更か所のみ入力又は選択してください。

令和６年７月

（3）連絡先シート



連絡先一覧　　現在

区分	法人名	担当者			電話	メールアドレス	備考
		部署	役職	氏名			

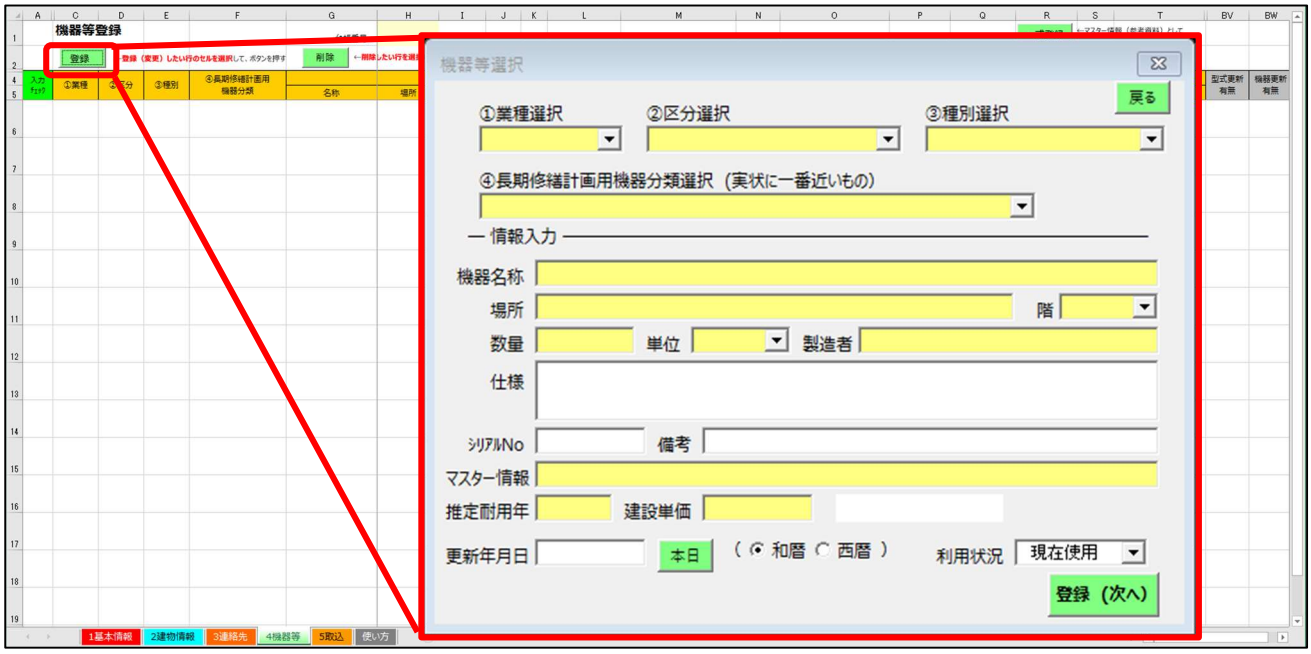
①今回工事に関連する担当者、又は故障時の連絡先などを入力してください。

　例：施工者、設計事務所、施工監理者、メーカー・保守窓口　等

②グリーン色の項目については、プルダウン項目から選択してください。

令和６年７月

（4-1）機器等登録シート（新シートに登録、既存データに新規登録する場合）



①登録したい行をクリックし、「登録」をクリックしてください。

②登録する機器に最も類似した機器をプルダウン「▼」の項目から選択してください。
　その他のベージュ色の項目は入力して、最後に「登録（次へ）」をクリックしてください。

③類似機器が項目にない場合や「推定耐用年数」「建設単価」が実態と大きく乖離している場合は、
　「②区分選択」にて「その他（〇〇）」を選択し、実態に合わせた内容を入力してください。
　※建設単価には、材料費と労務費を含めますが、諸経費及び消費税を含めないでください。
　※「更新年月日」はしゅん功日と同一としてください(例 2024/04/01 or R6.04.01)。

④設置する棟が複数にまたがる場合は、主要な棟に含めてください（例 連絡通路など)。
　階数が複数にまたがる場合は、「階」の項目で、主たる階数又は「その他」を選択してください。

⑤記載内容を削除したい場合は、「削除」をクリックしてください。
　※Delete キーなどで消さないでください。

令和６年７月

（4-2）機器等登録シートについて（既存データについて）

改修工事などで「既存機器データ」がある場合は、監督員から入手してください。

その場合は「5取込」のシートから建物保全データに取り込んでください。



①「種別」の●行について、ベージュ色のセルは変更しないでください。

※特に名称及び推定耐用年数、建設単価

②撤去又は不使用する機器は「利用状況」を「廃棄」又は「使用せず」に変更してください。

※行を削除、上書き変更は、行わないでください。

（4-3）機器等登録シートについて（入力内容を確認）



①未入力項目がある場合は「入力ﾁｪｯｸ」欄が赤色となり、「×場所が未入力」などと表示されます。

さらに、シート上部に「入力データに不完全なデータが含まれています」と表示されます。

入力した機器について、「入力ﾁｪｯｸ」が緑色かつ「○」になっているか確認してください。

②既存データについては、「利用状況」を除き、追記又は削除、変更しないでください。

既存データに「×場所が未入力」又は「×階が未入力」等が含まれている場合には、シート上部に「入力データに不完全なデータが含まれています」と表示されますが、そのまま提出してください。

③「推定耐用年」又は「建設単価」が青字・太字・斜体・下線付で表示される場合は、マスター情報が変更されています（ver4.0.0～4.0.2 の場合）。

【対応方法１】「5 取込」から ver5.0.1 の建物保全データに取込めば、マスター情報に修正されます。

【対応方法２】「②区分選択」にて「その他（○○）」を選択すると、推定耐用年及び建設単価が、ベージュ色地に黒字表示に変更されるので、入力できるようになります。

⑸「取込み」シート



①「既存機器データ」を取込む

- 改修工事で「既存機器データ」が必要な方は、監督員から受領してください。
- 「取込み」をクリックして、「既存機器データ」を選択してください。

② ver4.0.0～4.0.2 の建物保全データを取込む

- 「ver4.0 取込み」をクリックして、ver4.0.0～4.0.2 の建物保全データを選択してください。